

Ⅱ 教務関係事項(博士前期課程)

1 履修案内

1. 博士前期課程 修了認定の基準

修了認定の基準は、下記の修了に係る要件を満たすものとする。

(1) 博士前期課程

- 1 当該課程に2年以上在学すること。ただし、優れた研究業績を上げた者については1年以上在学すれば足りるものとする。
- 2 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科薬科学専攻における授業科目に関する細則に従い指導教員の指導により、30単位以上を修得すること。
- 3 必要な研究指導を受けたうえ、学位論文の審査に合格すること。
- 4 最終試験に合格すること。

2. 授業科目の履修について

博士前期課程で開設している授業科目、単位数、担当教員はP14～P15のとおりです。

3. 履修の届出について

(1) 履修登録

学生は、学年の始めに示される授業時間割表及びシラバス等により立てた履修計画に基づき、各期（前期、後期）に履修しようとするすべての授業科目を履修登録しなければなりません。履修登録は、指定された期間中に学内のコンピュータ端末の学務システム（WEB）を利用して各自行うこととします（履修登録のない科目の単位修得は認められません）。履修登録後は、登録された履修科目が各自の計画どおり登録されているか必ず確認してください。

(2) 履修科目の変更及び中途よりの履修

履修登録後は履修科目の変更及び中途よりの履修は原則として認めません。

但し、登録内容の誤りなどで、履修科目の追加又は変更を希望する場合は、指定された期間中に限り、学内のコンピュータ端末の学務システム（WEB）を利用して変更等することができます。

(3) 履修科目の取消

履修登録した科目を途中で履修することができなくなった場合は、直ちに薬学系教務学生担当へ申し出てください。

なお、履修登録の取り消しについても追加・変更同様、指定された期間中に限り、学内のコンピュータ端末の学務システム（WEB）を利用して取消しすることができます。

【シラバス】

各授業科目の概要・授業計画等は、シラバスに掲載してありますので、各自、パソコンで確認してください。

URL http://www.okayama-u.ac.jp/tp/student/syllabus_link.html

4. 修得単位の認定

各授業科目の単位修得の認定は、試験又は研究報告により担当教員が行います。

上記にかかわらず、特別研究及びセミナーの授業科目については、平素の成績により、単位を認定することがあります。

5. 成績評価基準

医歯薬学総合研究科博士前期課程薬科学専攻における成績評価は、試験、授業における発表・討論などへの取り組み、レポート、小テストなど、総合的に評価して行います。

そして、この総合評価に基づき、60点を単位認定基準とします。

なお、成績評価に関する学生の質問及び疑問等には、適切に対応するものとします。

6. 成績評価

成績評価は、本専攻の定める成績評価基準に基づき行います。なお、履修登録をしたにもかかわらず、試験を受けていない等で成績評価の資料を欠く場合については、F（不可：0点）とします。

本学ではGPA制度を導入しています。GPAとは、Grade Point Averageの略で、成績評価値をあらわします。本学におけるGPA制度の成績の表記とGPの換算は次のとおりです。

成績の評語およびグレード・ポイント（GP）

評語	評点 (整数)	H28 年度以降に履修する 授業科目の GP 算出方法：(評点-55)/10	H27 年度までに 修得した 授業科目の GP	基準等
A+	100 点	4.5	4	シラバスに記載する到達目標を十分に達成し、極めて優秀な成果を収めている。 合格（単位を授与する）
	99 点	4.4		
	98 点	4.3		
	97 点	4.2		
	96 点	4.1		
	95 点	4.0		
	94 点	3.9		
	93 点	3.8		
	92 点	3.7		
	91 点	3.6		
A	90 点	3.5	3	シラバスに記載する到達目標を達成し、優秀な成果を収めている。 合格（単位を授与する）
	89 点	3.4		
	88 点	3.3		
	87 点	3.2		
	86 点	3.1		
	85 点	3.0		
	84 点	2.9		
	83 点	2.8		
	82 点	2.7		
	81 点	2.6		
B	80 点	2.5	2	シラバスに記載する到達目標を達成し、良好な成果を収めている。 合格（単位を授与する）
	79 点	2.4		
	78 点	2.3		
	77 点	2.2		
	76 点	2.1		
	75 点	2.0		
	74 点	1.9		
	73 点	1.8		
	72 点	1.7		
	71 点	1.6		
C	70 点	1.5	1	シラバスに記載する到達目標を概ね達成している。 合格（単位を授与する）
	69 点	1.4		
	68 点	1.3		
	67 点	1.2		
	66 点	1.1		
	65 点	1.0		

	64 点	0.9		
	63 点	0.8		
	62 点	0.7		
	61 点	0.6		
	60 点	0.5		
F	0～59 点	0	0	シラバスに記載する到達目標を達成していない。 不合格（単位を授与しない）
W	付さない	対象外	対象外	履修登録後において、本学が別に定める履修取消期間内に 取消を行った授業科目
認定	付さない	対象外	対象外	単位認定等を受けた授業科目
修了	付さない	対象外	対象外	授業の特殊性に鑑み、評点により評価しがたいもの、もしくは一定の到達度をもって評価し単位を授与する場合
未修得	付さない	対象外	対象外	修了の評語をもって合格の評価とする授業科目で、不合格（単位を授与しない）とする場合

また、次の算式により、GPAを算出します。

$$GPA = \frac{(\text{履修登録した授業科目の単位数} \times \text{当該授業科目のGP}) \text{の総和}}{\text{履修登録した授業科目の単位数の合計}}$$

修得済み単位及びその成績評価並びにGPAについては、学務システム（WEB）により通知しますので、各自確認を行ってください。

7. 成績の通知

- (1) 成績評価は各自が学務システム（WEB）で確認してください。
- (2) 成績開示後、開示された成績に質問・疑問等がある場合は、当該授業担当教員に質問等を行うことができます。
- (3) 質問に対する教員の回答が得られない、または回答に納得できない場合は、「岡山大学大学院（薬学系）専門科目における成績評価異議申立に関する要項」に基づき、異議を申し立てることができるので、薬学系教務学生担当にその旨を申し出てください。
- (4) 成績評価に関する質問・疑問等がある場合には、薬学系教務学生担当にその旨を申し出てください。

8. 研究指導の計画

各学年の始めに、実際の指導教員が「研究指導計画書」（別紙の様式）を作成し、指導する各学生に交付します。研究計画を自身で立て、下記作成要領に従い、指導教員から「研究指導計画書」の交付を受けてください。

また、交付を受けた「研究指導計画書」をコピーし、それを4月末までに（10月入学者にあっては、10月末までに）薬学系教務学生担当へ提出してください。

【作成要領】

- 1 学生本人が研究指導計画書（Word文書ファイル）の「研究計画」欄を入力する。または、出力した研究指導計画書に自書する。
- 2 学生本人より、研究指導計画書（Word文書ファイル）を実際の指導教員へメール等で提出する。「研究計画」欄を学生が自書した場合は、「研究計画」欄を記入済みの研究指導計画書を指導教員へ提出する。
- 3 指導教員は、研究指導計画書を入力・完成させ、出力のうえ、当該学生へ交付する。入力済みの研究指導計画書（Word文書ファイル）は、指導教員が保管する。
- 4 研究指導計画書の交付を受けた学生は、「学生氏名」欄を自署のうえ、そのコピーを薬学系教務学生担当へ提出する。コピー元の研究指導計画書は、学生本人が保管する。

9. 学位論文の評価基準等

(1) 評価基準

学位（修士）論文は、以下の基準により評価します。

- 1 主たる論文内容が申請者自身の研究結果であること。
- 2 論文内容が質・量がともに担保されていること。
- 3 論文記載の研究成果に、新規性・進歩性が認められ、当該研究領域のさらなる進展に貢献するものであること。
- 4 論文形態・書式が当該論文分野の関連専門雑誌の投稿理念・規定に倣っていること。

(2) 審査委員の体制

正指導教員（主査）の他、論文内容に造詣が深く、かつ原則として学会発表等の共著者ではない教授又は准教授1名以上の教員で審査します。ただし、原則として教授1名以上を含みます。

(3) 審査方法

上記審査委員で構成される審査委員会にて論文を審査します。審査の結果、合格であった者のみ、最終試験を行います。なお、最終試験は学位（修士）論文発表会をもって充てます。

(4) 審査項目

- 1 研究への貢献度
- 2 論文内容の質・量
- 3 研究成果の新規性・進歩性
- 4 論文形態・書式の適切性

10. 他大学の大学院の授業科目の履修について

博士前期課程の学生が、他大学の大学院（外国の大学院又はこれに相当する高等教育機関等を含む）の授業科目の履修を希望するときは、所定の様式により指導教員の承認を受けて、研究科長に願い出て、許可を得なければなりません。

11. 入学前の既修得単位の認定について

博士前期課程の学生が、大学院に入学する前に本学又は他大学の大学院において履修した授業科目について、修得した単位の認定を受けようとするときは、所定の様式により指導教員の承認を受けて、研究科長に願い出て、認定を受けなければなりません。

12. 他大学の大学院等への研究指導委託生の派遣について

博士前期課程の学生が、他大学の大学院（外国の大学院等を含む）又は研究所等において必要な研究指導を受けようとするときは、所定の様式により指導教員の承認を受けて、研究科長に願い出て、許可を得なければなりません。派遣期間は1年以内です。

13. 薬学部授業科目に係る科目等履修生制度について

博士前期課程の学生は、科目等履修生制度により、薬学部授業科目を履修し、単位を修得することができます。履修を希望する場合、薬学系教務学生担当に願い出てください。

なお、薬剤師国家試験受験資格を取得するために指定科目の履修を願い出る場合は、薬学系教務学生担当にて手続きを確認してください。

14. 修士課程医歯科学専攻との相互履修科目について

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科薬科学専攻における授業科目に関する細則に規定される修士課程医歯科学専攻の開講授業科目について、4単位を上限として、修了要件単位に算入することができます。

履修を希望する場合は、所定の様式により指導教員の承認を受けて、教務学生担当へ提出してください。

研究指導計画書

【 年 月 日 作成】

学生番号			フリガナ 学生氏名 【 自 署 】			
講座名			教育研究 分野 名			
課程	博士前期 ・ 博士後期		在学年次	年次	入学年度	平成 年度
出身大学	学部	大学 学部 学科 (年 月 卒業)				
	修士 ※1	大学大学院 研究科 専攻 (年 月 修了)				
		修士論文 題 目			学位の名称	
					指導教員名	
研究題目						
研 究 指 導 計 画	指導教員		副指導教員	※2	※2	
	研究計画（学会発表、論文作成等を含む）：学生が記入					
	研究指導計画：指導教員が記入					
	本欄は各研究科で適宜利用 * 欄が不足する場合は適宜追加可能 * 副指導教員も必要に応じて、教員名を明記して記載することも可					

※1 博士前期課程の学生については、記入不要です。

※2 指導教員は、副指導教員を定め、記入してください。

Ⅲ 教務関係事項(博士後期課程)

1 履修案内

1. 博士後期課程 修了認定の基準

修了認定の基準は、下記の修了に係る要件を満たすものとする。

(1) 博士後期課程

- 1 当該課程に3年以上在学すること。ただし、優れた研究業績を上げた者については1年(2年未満の在学期間をもって修士課程又は前期2年の課程を修了した者にあつては、当該在学期間を含めて3年)以上在学すれば足りるものとする。
- 2 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科薬科学専攻における授業科目に関する細則に従い指導教員の指導により、16単位以上を修得すること。
- 3 必要な研究指導を受けたうえ、学位論文の審査に合格すること。
- 4 最終試験に合格すること。

2. 授業科目の履修について

博士後期課程で開設している授業科目、単位数、担当教員はP30～P31のとおりです。

3. 研究方法論基礎及び応用の開講について

研究方法論基礎及び応用(各2単位)の開講予定については、掲示板でご確認ください。

4. 履修の届出について

(1) 履修登録

学生は、学年の始めに示される授業時間割表及びシラバス等により立てた履修計画に基づき、各期(前期、後期)に履修しようとするすべての授業科目を履修登録しなければなりません。履修登録は、指定された期間中に学内のコンピュータ端末の学務システム(WEB)を利用して各自行うこととします(履修登録のない科目の単位修得は認められません)。履修登録後は、登録された履修科目が各自の計画どおり登録されているか必ず確認してください。

(2) 履修科目の変更及び中途よりの履修

履修登録後は履修科目の変更及び中途よりの履修は原則として認めません。

但し、登録内容の誤りなどで、履修科目の追加又は変更を希望する場合は、指定された期間中に限り、学内のコンピュータ端末の学務システム(WEB)を利用して変更等することができます。

(3) 履修科目の取消

履修登録した科目を途中で履修することができなくなった場合は、直ちに薬学系教務学生担当へ申し出てください。

なお、履修登録の取り消しについても追加・変更同様、指定された期間中に限り、学内のコンピュータ端末の学務システム(WEB)を利用して取消しすることができます。

【シラバス】

各授業科目の概要・授業計画等は、シラバスに掲載してありますので、各自、パソコンで確認してください。

URL http://www.okayama-u.ac.jp/tp/student/syllabus_link.html

5. 修得単位の認定

各授業科目の単位修得の認定は、試験又は研究報告により担当教員が行います。

上記にかかわらず、課題研究の授業科目については、平素の成績により、単位を認定することがあ

ります。

6. 成績評価基準

医歯薬学総合研究科博士後期課程薬科学専攻における成績評価は、試験、授業における発表・討論などへの取り組み、レポート、小テストなど、総合的に評価して行います。

そして、この総合評価に基づき、60点を単位認定基準とします。

なお、成績評価に関する学生の質問及び疑問等には、適切に対応するものとします。

7. 成績評価

成績評価は、本専攻の定める成績評価基準に基づき行います。なお、履修登録をしたにもかかわらず、試験を受けていない等で成績評価の資料を欠く場合については、F（不可：0点）とします。

本学ではGPA制度を導入しています。GPAとは、Grade Point Averageの略で、成績評価値をあらわします。本学におけるGPA制度の成績の表記とGPの換算は次のとおりです。

成績の評語およびグレード・ポイント（GP）

評語	評点 (整数)	H28 年度以降に履修する 授業科目の GP 算出方法：(評点-55)/10	H27 年度までに 修得した 授業科目の GP	基準等
A+	100 点	4.5	4	シラバスに記載する到達目標を十分に達成し、極めて優秀な成果を収めている。 合格（単位を授与する）
	99 点	4.4		
	98 点	4.3		
	97 点	4.2		
	96 点	4.1		
	95 点	4.0		
	94 点	3.9		
	93 点	3.8		
	92 点	3.7		
	91 点	3.6		
A	90 点	3.5	3	シラバスに記載する到達目標を達成し、優秀な成果を収めている。 合格（単位を授与する）
	89 点	3.4		
	88 点	3.3		
	87 点	3.2		
	86 点	3.1		
	85 点	3.0		
	84 点	2.9		
	83 点	2.8		
	82 点	2.7		
	81 点	2.6		
B	80 点	2.5	2	シラバスに記載する到達目標を達成し、良好な成果を収めている。 合格（単位を授与する）
	79 点	2.4		
	78 点	2.3		
	77 点	2.2		
	76 点	2.1		
	75 点	2.0		
	74 点	1.9		
	73 点	1.8		
	72 点	1.7		
	71 点	1.6		

	70 点	1.5		
C	69 点	1.4	1	シラバスに記載する到達目標を概ね達成している。 合格（単位を授与する）
	68 点	1.3		
	67 点	1.2		
	66 点	1.1		
	65 点	1.0		
	64 点	0.9		
	63 点	0.8		
	62 点	0.7		
	61 点	0.6		
	60 点	0.5		
F	0～59 点	0	0	シラバスに記載する到達目標を達成していない。 不合格（単位を授与しない）
W	付さない	対象外	対象外	履修登録後において、本学が別に定める履修取消期間内に 取消を行った授業科目
認定	付さない	対象外	対象外	単位認定等を受けた授業科目
修了	付さない	対象外	対象外	授業の特殊性に鑑み、評点により評価しがたいもの、もしくは一定の到達度をもって評価し単位を授与する場合
未修得	付さない	対象外	対象外	修了の評語をもって合格の評価とする授業科目で、不合格（単位を授与しない）とする場合

また、次の算式により、GPAを算出します。

$$GPA = \frac{(\text{履修登録した授業科目の単位数} \times \text{当該授業科目のGP}) \text{の総和}}{\text{履修登録した授業科目の単位数の合計}}$$

修得済み単位及びその成績評価並びにGPAについては、学務システム（WEB）により通知しますので、各自確認を行ってください。

8. 成績の通知

- (1) 成績評価は各自が学務システム（WEB）で確認してください。
- (2) 成績開示後、開示された成績に質問・疑問等がある場合は、当該授業担当教員に質問等を行うことができます。
- (3) 質問に対する教員の回答が得られない、または回答に納得できない場合は、「岡山大学大学院（薬学系）専門科目における成績評価異議申立に関する要項」に基づき、異議を申し立てることができるので、薬学系教務学生担当にその旨を申し出てください。
- (4) 成績評価に関する質問・疑問等がある場合には、薬学系教務学生担当にその旨を申し出てください。

9. 研究指導の計画

各学年の始めに、実際の指導教員が「研究指導計画書」（別紙の様式）を作成し、指導する各学生に交付します。研究計画を自身で立て、下記作成要領に従い、指導教員から「研究指導計画書」の交付を受けてください。

また、交付を受けた「研究指導計画書」をコピーし、それを4月末までに（10月入学者にあつては、10月末までに）薬学系教務学生担当へ提出してください。

【作成要領】

- 1 学生本人が研究指導計画書（Word文書ファイル）の「研究計画」欄を入力する。または、出力した研究指導計画書に自書する。
- 2 学生本人より、研究指導計画書（Word文書ファイル）を実際の指導教員へメール等で提出する。「研究計画」欄を学生が自書した場合は、「研究計画」欄を記入済みの研究指導計画書を指導教員へ提出する。
- 3 指導教員は、研究指導計画書を入力・完成させ、出力のうえ、当該学生へ交付する。入力済みの研究指導計画書（Word文書ファイル）は、指導教員が保管する。
- 4 研究指導計画書の交付を受けた学生は、「学生氏名」欄を自署のうえ、そのコピーを薬学系教務学生担当へ提出する。コピー元の研究指導計画書は、学生本人が保管する。

10. 学位論文の評価基準等

(1) 評価基準

- 1 主たる論文内容が申請者自身の研究結果であること。
- 2 論文内容が質・量ともに担保されていること。
- 3 論文記載の研究成果に、新規性・進歩性が認められ、当該研究領域のさらなる進展に貢献するものであること。
- 4 論文形態・書式が当該論文分野の関連専門雑誌の投稿理念・規定に倣っていること。

(2) 審査委員の体制

審査委員会は、次の各号に掲げる審査委員で組織します。ただし、審査委員には、教授および准教授それぞれ1名以上を含まなければならないこととします。

1 主査

論文内容に造詣が深く、正指導教員あるいは紹介指導教員ではなく、参考論文の共著者でない教授又は准教授

2 副査

論文内容に造詣が深い教授又は准教授2名以上。正指導教員又は紹介指導教員を含んでもよいが、参考論文の共著者でない副査を必ず含むこと。

(3) 審査方法

公開での学位論文発表会を行い、上記審査委員で構成される審査委員会にて予備審査を実施します。審査の結果、合格であった者のみ、論文審査並びに最終試験を行います。

(4) 審査項目

- 1 研究への貢献度
- 2 論文内容の質・量
- 3 研究成果の新規性・進歩性
- 4 論文形態・書式の適切性

11. 他大学の大学院の授業科目の履修について

博士後期課程の学生が、他大学の大学院（外国の大学院等を含む）授業科目の履修を希望するときは、所定の様式により指導教員の承認を受けて、研究科長に願い出て、許可を得なければなりません。なお、履修した単位は、10単位を限度として修了に必要な単位として認定することができます。

12. 他大学の大学院等への研究指導委託生の派遣について

博士後期課程の学生が、他大学の大学院（外国の大学院等を含む）又は研究所等において研究指導を受けようとするときは、所定の様式により指導教員の承認を受けて、研究科長に願い出て、許可を得なければなりません。派遣期間は1年以内です。ただし、必要な手続きを経て承認された場合は、延長することができます。

13. 薬学部授業科目に係る科目等履修生制度について

博士後期課程の学生は、科目等履修生制度により、薬学部授業科目を履修し、単位を修得することができます。履修を希望する場合、薬学系教務学生担当に願い出てください。

なお、薬剤師国家試験受験資格を取得するために指定科目の履修を願い出る場合は、薬学系教務学生担当にて手続きを確認してください。

研究指導計画書

【 年 月 日 作成】

学生番号			フリガナ 学生氏名 【 自 署 】			
講座名			教育研究 分野 名			
課程	博士前期 ・ 博士後期		在学年次	年次	入学年度	平成 年度
出身大学	学部	大学 学部 学科 (年 月 卒業)				
	修士 ※1	大学大学院 研究科 専攻 (年 月 修了)				
		修士論文 題 目			学位の名称	
					指導教員名	
研究題目						
研 究 指 導 計 画	指導教員		副指導教員	※2	※2	
	研究計画（学会発表、論文作成等を含む）：学生が記入					
	研究指導計画：指導教員が記入					
	本欄は各研究科で適宜利用 * 欄が不足する場合は適宜追加可能 * 副指導教員も必要に応じて、教員名を明記して記載することも可					

※1 博士前期課程の学生については、記入不要です。

※2 指導教員は、副指導教員を定め、記入してください。

1. 博士前期課程 薬科学専攻

[illegible]

講義番号	授 業 科 目	担 当 教 員	単位数		期別
			必 修	選 択	
321001	(医歯科学専攻の相互履修科目) 医歯科学概論	別紙参照		2	
321002	生命倫理学			1	
321003	人体構造学			2	
321005	人体生理学			2	
321006	生化学			2	
321007	病理病態学			2	
321008	総合薬理学			2	
321009	生体材料学			2	
321010	社会医歯科学			2	
321011	臨床医歯科学概論			2	

2 開講授業科目及び担当教員

1. 博士後期課程 薬科学専攻

履修方法 指導教員の指導により、16単位以上を修得すること。

専門科目【選択科目】については、3授業科目3単位以上を履修すること。3授業科目のうち2科目以上は*印の授業科目を履修すること。

専門科目【薬科学演習】は、所属する教育研究分野の講義1授業科目2単位(必修科目)及び他の教育研究分野1授業科目2単位以上(選択科目)を履修すること。選択科目については、博士課程専門科目(講義・演習)を履修することができる。対象科目は、薬学系教務学生担当にて確認すること。

講義番号	講義題目	担当教員	単位数		修了要件 単位数
			必修	選択	
725001	(専門基盤科目) 研究方法論基礎	各教員	2		2単位
725002	研究方法論応用	各教員	2		2単位
別紙参照	(研究指導科目) 課題研究	各教員	4		4単位
	薬科学英語演習	各教員	1		1単位
	(専門科目) 【選択科目】				
728117	* 創薬有機化学	好光 健彦 教授		1	
728116	* 精密合成設計学	澤田 大介 教授		1	
728118	* 複素環化学	阿部 匠 講師		1	
728104	* 医薬開発臨床情報学	加来田博貴 准教授		1	
728106	* 天然物化学概説	久保田高明 教授		1	
		谷口 抄子 准教授			
728107	* 医薬品機能分析化学	上田 真史 教授		1	
728108	* トランスポーター学	宮地 孝明 准教授		1	
728109	* 生体膜輸送科学	表 弘志 准教授		1	
728119	* 生体膜分子生理化学	日浅 未来 講師		1	
728110	* 薬物動態解析学	檜垣 和孝 教授		1	
		丸山 正人 准教授			
728113	* 生体応答制御学	垣内 力 教授		1	
		古田 和幸 准教授			
728114	* 生体分子解析学A	須藤 雄気 教授		1	
728115	* 生体分子解析学B	井上 剛 准教授		1	
728120	* 安全性評価学	別紙参照		1	選択3単位
728203	薬効解析学	上原 孝 教授		1	
		高杉 展正 准教授			
728204	炎症薬理学	杉本 幸雄 准教授		1	
728206	薬物療法設計学	合葉 哲也 准教授		1	
728210	臨床病態診断学	岩崎 良章 教授		1	
		大西 勝 教授			
		岡部 伸幸 講師			
		谷口 暁彦 助教			
728211	環境微生物化学	三好 伸一 教授		1	
728217	毒性学	小野 敦 教授		1	
		児玉 進 准教授			
728212	医薬品分子標的学	金 恵淑 准教授		1	
728214	医薬品臨床応用学	狩野 光伸 教授		1	
728215	膜タンパク質構造生物学	山下 敦子 教授		1	
		安井 典久 准教授			
728216	防災危機管理学	名倉 弘哲 教授		1	
728218	疾患薬理制御科学	有吉 範高 教授		1	
別紙参照	グローバル・プレゼンテーション1			1	
別紙参照	グローバル・プレゼンテーション2			1	
別紙参照	創薬・育薬特別実習1			1	
別紙参照	創薬・育薬特別実習2			2	

講義番号	講義題目	担当教員	単位数		修了要件 単位数
			必修	選択	
	(専門科目) 【薬科学演習】 各 2 単位				
728317	創薬有機化学演習	好光 健彦 教授	}	}	必修 2 単位 選択 2 単位
728316	精密合成設計学演習	澤田 大介 教授 阿部 匠 講師			
728304	創薬知的財産学演習	加来田博貴 准教授			
728306	天然物化学演習	久保田高明 教授 谷口 抄子 准教授			
728307	医薬品機能分析学演習	上田 真史 教授			
728308	トランスポーター学演習	宮地 孝明 准教授			
728309	生体膜輸送科学演習	表 弘志 准教授 日浅 未来 講師			
728310	薬物動態解析学演習	檜垣 和孝 教授 丸山 正人 准教授			
728313	生体応答制御学演習	垣内 力 教授 古田 和幸 准教授			
728314	生体分子解析学A演習	須藤 雄気 教授			
728315	生体分子解析学B演習	井上 剛 准教授			
728318	安全性評価学演習	別紙参照			
			2	2	